



# 大安寺護寺会だより

平成三十三年一月一日発行第五号

発行責任者

大安寺護寺会理事長

北村 耕一

平成22年 11月 24日 撮影

# 新春のご挨拶



天端山天安寺住職  
大安寺護寺公会長

押見俊哉

西暦二〇一一（邦歴平成二三年辛卯）年頭新春を迎え、謹んで大安寺檀信徒の皆様のご清福と万福多幸を  
ご祈念申し上げます。

檀信徒の皆様には、日頃より菩提寺であります大安寺の護寺の為に、ご理解とご協力を頂いておりますことに、改めて感謝申し上げます。

松たてず しめかざりせず 餅つかず  
かかる家にも 春は来にけり

（元政法師）

元政法師は江戸時代前期の日蓮宗の学僧で、晩年に京都深草に隠棲したので深草上人とも呼ばれます。先の一首の意味は平易です。

門松も立てない、しめ飾りもしない、餅もつかないから鏡餅も供えない。正月を迎える装いは何一つない我が家だが、こんな家にも新しい春が訪れてくれた

よ。というものです。正月の飾りをする、しないは人の自由です。しかし、世の中の情勢や景気のいい悪いに関係なしに、普段のままに、「春は来にけり」と大きくうなづける心の仕度、心の持ちようができるか、どうかが大事です。

上人は戒律を重んじ、自我にとらわれることを強く戒めました。自我にとらわれさえしなければ、自然とおおらかな心でいられると示唆されています。

正月の飾りは家の内外にするのではなく、自分の心の中にこそ、厳かにするべきことを言われるのです。心に深く信ずるものを持ち、人生を生き抜く誓願を確立することが真実の飾りでしょう。

昨年は、「先代住職七回忌・先々代の五十回忌」法要が勤まりました。

そして、私の長男の大俊の「出家得度式」を行い、先代・先々代に対する報恩行とさせて戴きました。詳細は記事の中で報告されていますが、まだまだ僧侶としてのスタートラインに立ったばかりのところですよ。

一人前の僧侶となるには、これから超えなければならぬハードルが沢山あります。それを越えるためのパワーの源は、私もそうでしたが、檀信徒の皆様方です。陰に陽に次期後継者となるべくお支え頂きますようをお願いを申し上げます。

本年が皆様にとって素晴らしい年であることを重ねて祈念申し上げます。

# 出家得度式



大安寺内  
押見 清純

九月七日、八日、りょうそほうおんえ 兩祖報恩会（かいさんき 開山忌）において、本年は三世住職どんしやうりやうだいおしやう 吞舟龍江大和尚五十回忌、四世住職とくおうちやうだいおしやう 徳応香積大和尚七回忌法要にあたり、現住職・長男大俊（だいしゆん 小学五年生）の出家得度式を行いました。

出家得度式とは正式に僧侶の仲間入りをし  
て仏の、み教えを信じ仏の徳を身に具えるこ  
とであります。得度式では師匠から髪を剃り  
落としていただき、衣・お袈裟けさ・坐具ざぐ・応量  
器きという僧侶として必要で最も大切なものを  
頂戴しお釈迦さまより正しく伝えられてき  
た「戒律・戒法」を受けて正式に僧侶の仲間  
入りをする儀式です。

## しょう 唱 名 みよう

師匠がお釈迦さま、歴代のお祖師さま、三世十方の諸仏に報告する。



得度式に参加されるお坊さんが、本堂内に集まり、法要が始まります。



## てい 剃 はっ 髪 文

髪を一結び残して剃り落します。



家族に一拝し得度式に望みます。



## らい さん もん 礼 讚 文

み仏の弟子となり、お釈迦さまより伝えられてきた教えを学びます。



# 安名授与

僧侶としての名前を授かります。安名(慈徳大俊)。



# 周羅除去

最後の結びを師匠に剃り落していただきます。



# 授直綴

師匠より衣を授かり衣を身に着けます。



# 三帰依、三聚浄戒、十重禁戒

お釈迦様より正しく伝えられてきた戒律戒法を受けて僧侶の仲間入りをする。



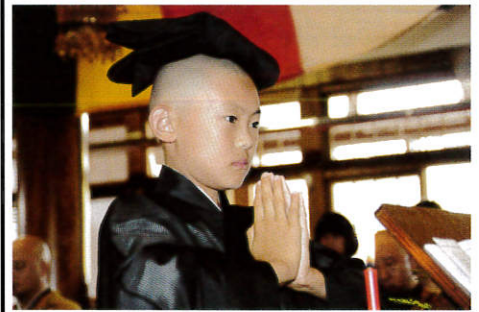
# 懺悔

自分の犯した罪悪に気づき悔い改めることを誓います。



# 授坐具衣針

坐具、お袈裟、応量器という僧侶として必要で最も大切なものを頂きます。



# 得度式を終えて

若さんの挨拶「これから一生けんめい勉強して立派なお坊さんになります。」



# 謝拝

得度式に参加していただいたお坊様にお礼の挨拶をします。



# 血脈授与

代々伝えられていく系譜法統を師匠から授かります。



# 平成三十三年七月からのお寺の行事

## 地蔵供養祭

七月二十四日(日)午  
前十一時から本堂におい  
て地蔵供養祭が行なわれ  
ました。併せて忠魂碑に  
祀られている戦死者の供  
養をいたしました。



地蔵供養祭の準備が終った地藏堂

## 盂蘭盆会

八月十六日(火)午後  
一時より本堂において行  
なわれました。  
ご先祖や亡き人の御霊  
を迎え、丁重におもてな  
しをして差し上げます。



万灯供養

# 両祖報恩会速夜

九月七日(水)午後六時より大安寺本堂において両  
祖報恩会速夜の行事が行なわれました。曹洞宗を開か  
れた道元禅師様、曹洞宗発展の礎を築かれた瑩山禅師  
様両祖の偉大な恩徳を讃え、感謝する法会。

蠟燭の灯りのみで堂内を灯して先祖を供養する「万  
灯供養」を行ないました。



# 両祖報恩会 正当

九月八日前日のお逮夜に続き、両祖報恩会正当、特別大施食会、大本山布教師様のお説教がありました。両祖報恩会は年間を通じて最も厳粛で盛大な法要です。



# 秋季彼岸会

# 水子供養

お彼岸は仏教の教えを  
実践する期間であり、同  
時にご先祖供と水子供養  
をいたしました。



# 釈尊成道会

# 秋初穂 献納

お釈迦様が菩提樹の下  
で坐禅をされてお悟りさ  
れたことをお祝いする法  
要です。



# 大安寺婦人会創立四十周年記念式典



婦人会会長 中村様の挨拶

昭和四十五年に創立した、大安寺婦人会の四〇周年記念式典が十一月二十三日大安寺本堂で行なわれました。  
式典のあと大広間で記念祝宴（忘年会）が盛大に行なわれました。



盛大に行なわれて記念祝宴

# 叙尊成道会 大安寺チャリティー寄席

大安寺では今年二度目のチャリティー寄席が行なわれました。今回は落語の三遊亭遊雀師匠と太神楽の鏡味正二郎先生のお二人に出演をして、いただきました。



太神楽 鏡味 正二郎 先生



落語 三遊亭 遊雀 師匠

## 梅花講の活動

お寺の行事への参加、講習会の実施・参加・お通夜でのご供養などを行っていただきます。  
随時 会員・参加者募集してあります。お気軽にお問い合わせ下さい。



# 護寺会の活動

お寺の行事に参加し、  
受付、納骨堂のかたづけ、  
お寺の大掃除などの作業  
もします。



地藏堂の清掃



文書の発送準備

## 坐禅のつどい



毎月一日に午  
後七時から大安  
寺本堂において  
坐禅を行なっ  
ていました。  
(今年度は別紙参照)



## 写経・読経のつどい



大安寺では毎  
月一度写経と読  
経の集いを行な  
っていました。  
多くの方の参  
加を希望します。  
(今年度は別紙参照)



## 永代供養

毎日朝のおつとめの折  
に、ご尊家ご先祖様のご  
供養をいたします。

※お問い合わせ先  
大安寺まで

写真右・日牌  
写真左・月牌



## 広報から

十一月に風がふき、お  
寺の銀杏の葉が落ちまし  
た。境内がみごとに黄金  
色になっています。

